

ちむ美らさ

第81号

発行: 北部農林水産振興センター
農業改良普及課

住所: 沖縄県名護市大南1-13-11

電話: 0980-52-2752

FAX: 0980-51-1013



目次

- 1P 花と食のフェスタ
- 2P ・セリで高く売れる生
- 3P ・オクラ植付け
・アレカヤシ
- 4P ・古宇利島農業振興

おきなわ花と食のフェスティバル2017

平成29年2月4日～5日に奥武山講演にて「おきなわ花と食のフェスティバル」が開催され、各園芸品目の品評会で北部地区から多くの生産者の皆様が受賞されました。

また、花き産地活動表彰では、おきなわブランド化貢献部門で、沖縄県花卉園芸農業協同組合太陽の花恩納支部が表彰され、沖縄県園芸拠点産地優良農家表彰では、富平明氏(今帰仁村)、島袋幸得氏(伊江村)がそれぞれ受賞されました。沖縄県農林漁業賞においても、演芸部門で名護市の玉城政和氏(花き)、野原朝行氏(花卉)のお二方が表彰されました。受賞されました皆様、おめでとうございます。

第32回 花き品評会受賞者				
賞名	受賞者	品目名	市町村	特別賞
金賞	新城 究	ドラセナ	名護市	農林水産省生産局長
	与那城 徹義	大きく	伊江村	沖縄県知事賞
	具志 千加子	観葉鉢物	恩納村	沖縄県議会議長賞
	島袋 勇	スプレーギク	伊江村	沖縄県農林水産部長賞
	棚原 貴光	大きく	伊江村	一般社団法人日本花き卸売市場協会会長賞
	松田 次男	アレカヤシ	名護市	九州山口花き園芸連絡協議会長賞
	島袋 スエ子	スプレーギク	伊江村	
	島袋 利幸	スプレーギク	伊江村	
	幸地 洋子	ドラセナ	恩納村	
	銀賞	大湾 勇	大きく	大宜味村
仲田 一		大きく	本部町	
宮城 忠司		大きく	伊江村	
大城 玄		小さく	伊江村	
並里 千栄		小さく	伊江村	
島袋 良正		スプレーギク	伊江村	
金城 邦男		スプレーギク	今帰仁村	
宮里 友和		スプレーギク	名護市	
宇江城 安昭		ヘリコニア	恩納村	
安和 敏幸		アレカヤシ	東村	
銅賞	安和 美奈子	アレカヤシ	東村	
	新城 究	ドラセナ	名護市	
	玉城 文子	タニワタリ	伊江村	
	當銘 伯英	大きく	本部町	
	棚原 有史	大きく	伊江村	
	並里 清仁	大きく	伊江村	
	比嘉 栄	スプレーギク	国頭村	
	眞栄田 耕太	スプレーギク	今帰仁村	
	島袋 勇誠	スプレーギク	伊江村	
	仲地 リナ	スプレーギク	名護市	
津波 正光	トルコギキョウ	名護市		

第27回 野菜品評会受賞者				
賞名	受賞者	品目名	市町村	特別賞
金賞	儀間 幸太	ラッキョウ	伊江村	沖縄県町村会長賞
	嘉数 昇	大型平ざや	金武町	沖縄県農業協同組合中央会会長賞
銀賞	比嘉 広文	ミニトマト	名護市	
	佐久川 和雄	さやいんげん	伊江村	
銅賞	仲松 安秀	きゅうり	宜野座村	
	比嘉 清隆	かぼちゃ	名護市	
	備瀬 政憲	さやいんげん	本部町	
	豊里 友作	スイカ	今帰仁村	
	仲間 和男	田いも	金武町	
	名嘉元 精雄	ラッキョウ	伊江村	

第16回 果樹品評会受賞者				
賞名	受賞者	品目名	市町村	特別賞
最優秀賞	小橋川 弘	フルーツシークワーサー	大宜味村	農林水産省生産局長賞
	宮城 調義	タンカン	国頭村	沖縄県知事賞
優秀賞	具志堅 興元	タンカン	名護市	
	宮城 俊次	タンカン	東村	
優良賞	宮城 光明	フルーツシークワーサー	大宜味村	
	宮城 光明	タンカン	大宜味村	
	久高 信子	タンカン	東村	
	翁長 久	タンカン	名護市	
	仲井間 憲治	タンカン	本部町	
	照屋 正和	フルーツシークワーサー	大宜味村	

第9回 沖縄県マンゴーコンテスト受賞者				
賞名	受賞者	品目名	市町村	特別賞
優秀賞	大城 一秀	マンゴー	金武町	沖縄協同青果株式会社 社長賞



太陽の花 恩納支部



農林漁業賞 受賞者

(担当: 岩本)

賞名	受賞者	市町村	特別賞
花き産地活動表彰	沖縄県花卉園芸農業協同組合	恩納村	代表者 松田 建淳
おきなわブランド化貢献部門	太陽の花 恩納支部	恩納村	
沖縄県園芸拠点産地	富平 明	今帰仁村	JAおきなわ今帰仁支店 花卉生産部会
優良農家表彰	島袋 幸得	伊江村	沖縄県花卉園芸農業協同組合 伊江支店
沖縄県農林漁業賞	玉城 政和	名護市	花き
園芸部門	野原 朝幸	名護市	花き

セリで高く売れる牛ってどんな牛？

今回は、今帰仁家畜市場で高額取引された子牛のデータ*から、セリで高く売れる子牛の条件について調べてみましたので、今後の子牛生産の参考にしてください。

*平成24年(1~6月)と平成28年(1~6月)の今帰仁家畜セリ結果をもとに、高額取引された去勢及び雌子牛上位10頭ずつ、合計240頭のデータを用い、比較した。

図1 高額取引子牛の体重(去勢)

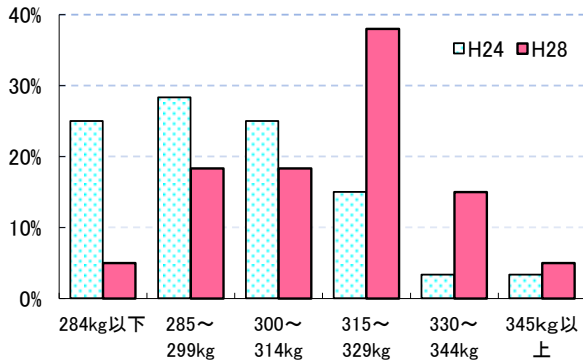
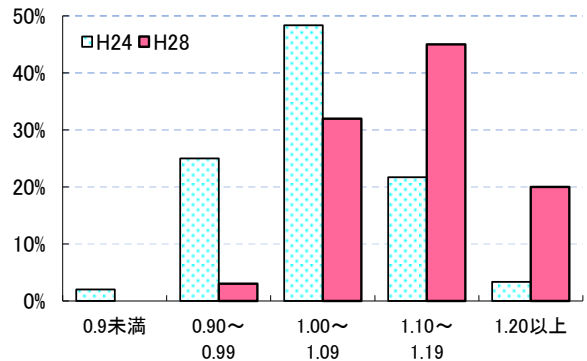


図2 高額取引子牛の日齢体重(去勢)



子牛(去勢)は、体重が315kg~329kgで、日齢体重が1.10~1.19kg/日の発育良好な子牛が高く売れてます。また、平成28年は、平成24年に比べて、子牛の発育がよくなっており、農家の皆さんの飼養管理技術が向上していることがうかがえます。

図3 高額取引子牛の母牛の審査得点

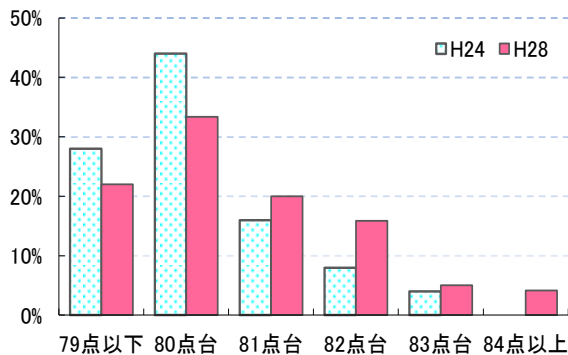
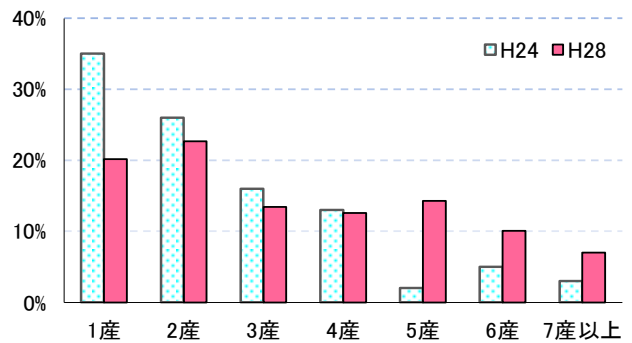


図4 高額取引子牛の母牛の産次



発育の良い子牛生産には、母牛の体型(審査得点)も重要です。平成24年は80点台の母牛が多かったですが、平成28年は、81~82点台の母牛が増えており、母牛の改良もすすんでいるようです。

平成24年は、1産目の母牛から産まれた子牛が多く、若い母牛ほど、より魅力のある血統に更新されているようでしたが、平成28年は、1産目の割合が低く、5産目以上の割合が高くなっています。このことから、母牛の更新がうまくいっていない可能性があります。近年のセリ値高騰で、保留候補の雌子牛を販売していませんか？母牛は毎年きちんと更新しましょう！

今帰仁家畜市場における子牛の月平均取引頭数と平均価格

	月平均取引頭数	平均価格
平成24年(1~6月)	286頭/月	380,351円/頭
平成28年(1~6月)	229頭/月	752,855円/頭
H28-H24	△57頭/月	+372,504円/頭

子牛の販売価格は好調ですが、取引頭数は、減少しています。子牛を増頭するため、母牛の自家保留を計画的に行いましょう！

(担当:瑞慶山)

オクラ播種の注意点について

オクラは熱帯原産の野菜で発芽適温は25℃～30℃です。まだ気温が低い春先は発芽まで日数がかかるため、苗立枯病の発生に注意する必要があります。

① 北部では4月以降に発芽が安定します

温度による発芽日数(発芽率)

25～30℃ 4～5日(85%以上)
15℃ 20日(60%程度)

② 苗立枯病の予防散布をしましょう

播種前にエフェム粒剤9～18kg/10a。種時にリフレックス水和剤1,000倍と好カビ液剤500～1,000倍を植穴灌注します。

③ 播種穴を軽く押し固めてから播種し、培養土等で覆土します

播種穴はピン底などで窪みを付け、1穴に4～5粒播します。培養土や砂+堆肥で1～2cm程度覆土することで発芽率が向上します。

④ 風対策、排水対策が必要です

寒風や過湿が発芽率の低下を招きます。播種にあたり、圃場周辺の防風垣設置、高畝による排水対策が必要です。

(担当:新里)



苗立枯病



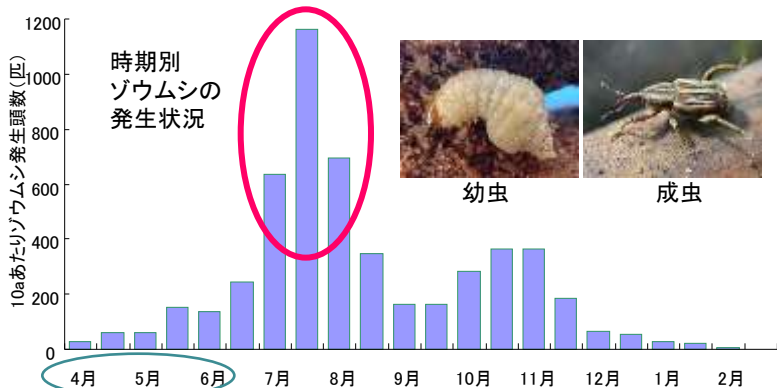
種子深2cm
発芽率80%



種子深4cm
発芽率40%

アレカヤシを害するゾウムシ防除の準備をしましょう

アレカヤシの害虫であるシロスジオサゾウムシは、幼虫が株元から入り内部を食害することで株枯れを引き起こします。冬場は活動の鈍いゾウムシも、梅雨明け時期に爆発的に増加するため4～6月の徹底防除が重要です。ぜひとも今のうちから防除の準備をしましょう！



幼虫



成虫

防除のポイント

① 外部からの侵入を防ぐ



- ・出入口を二重カーテンにして、ゾウムシの侵入を防ぐ
- ・ネットのほつれや穴の補修

② 潜んでいる場所に集中散布

- ・株元への手がけ散布がベスト
 - ・成虫は茎と葉がらの間に潜むため、粒剤との組み合わせも効果的
- ※頭上スプリンクラー散布では株元まで薬液が届かないことが多い

徹底防除!
(4～6月)の
梅雨時期

梅雨明けに
爆発的に
増える!

ゾウムシは茎の内部に産卵し、幼虫も株元にいるため、茎内部に侵入されると根絶は困難です。気づいたときには蔓延していることもあるので、ゾウムシを施設内に入れ、ないことから始めましょう。



古宇利島 農業振興の取組み!

～地域農業振興総合指導事業 3年間の活動～



平成26年度から3年間、今帰仁村古宇利地区において地域農業振興総合指導事業を実施しました。

事業の目的は「農業生産振興」と「リーダーの育成」!!

古宇利区では、青果用かんしょの普及を通して取組みました。

主な活動は下記のとおり。

青果かんしょの取組み



栽培講習会



展示ほ



焼き芋食味調査



販売促進

リーダー研修



県外先進地視察



農業研究センター視察

その他



推進会議



H26「いもの日」参加



「いもの日」開催支援



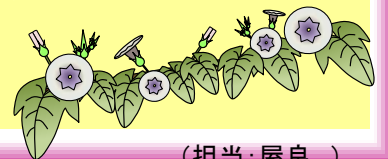
加工試作品の検討



古宇利産
青果用かんしょ

3年間の取組みで、古宇利島に適した美味しい青果用かんしょの選定とその品種を栽培し、青果かんしょ栽培を牽引していく農家を育成しました。また、残された課題があるものの、今後、地域一帯となって取り組むことが出来れば、青果用かんしょの生産増・ブランド化が期待できます。

目指せ!! 美味しいイモの産地!!



(担当: 屋良)